

## 平成30年度・31年度役員立候補者

平成30年5月1日  
公益社団法人日本診療放射線技師会  
総会運営委員長 松本 俊也

定款第27条ならびに役員選任規程に基づく平成30年度・31年度役員選任について、下記候補者の届出を受理致しました。

03

記

## 理事候補者

## 地域理事候補者

北海道地域（定数1人）

とみた のぶお  
**富田 伸生** 46歳

所属：（一社）北海道放射線技師会

- 勤 務 先：南郷中央整形外科
- 最 終 学 歴：北海道大学医療技術短期大学部
- 所 信 ・ 抱 負： このたび、地域理事として立候補致しました北海道放射線技師会の富田伸生です。

平成22年度より北海道放射線技師会 常務理事・副会長として8年間務めさせていただきました。また平成23年度からはJARTの教育委員幹事を拝命し、業務拡大に伴う統一講習会をはじめ基礎技術講習など、JARTの学術関連事業の地域開催をお手伝いさせていただきました。

その中で、北海道の特殊性（広大な面積、1地域で1技師会）を考慮していただく必要性を度々感じていましたので、職能団体としてのJARTの取り組みを地域会員へ伝えるだけでなく、地域会員の声をJARTへ届けることも重要と考えます。

診療放射線技師の未来を変えるのは、われわれ診療放射線技師自身です。そのためには、JARTが地域と連携しながら先を見据えた事業を展開し、併せて組織率向上を図っていくことが必要です。

北海道地域理事としてJARTと連携し、会員の皆さまのお役に立てるよう尽力したいと考え立候補致します。

## 東北地域（定数1人）

ふなみず けんいち  
船水 憲一 55歳

所属：（公社）青森県診療放射線技師会

- 勤務先：つがる西北五広域連合 つがる総合病院
- 最終学歴：弘前大学医療技術短期大学部 診療放射線技術学科，保健衛生学学位取得
- 所信・抱負：このたび，東北地域の地域理事に立候補致しました公益社団法人青森県診療放射線技師会の船水憲一です。

世界から見た日本は，極めて小さい国であります，この小さな国ですら多種多様な考え方があり，なかなか一枚岩になりません。しかし，多種多様な考え方が，一枚岩にならない理由でもないはずで。

情報技術の進歩により，あらゆる場所で，あらゆる情報を得ることができますが，情報というものは得ることよりも，得た人間がどのように解釈するかが重要だといわれています。多種多様な考え方は，ある意味多言語と同じだとすれば，地域理事は，本部と地域との多言語通訳が役割ではと考えます。双方向で誤った解釈の情報伝達にならないよう努めることで，情報の地域格差，会員間の格差をなくすとともに，前任者の永峰理事の意向をくみつつ，東北地域の一枚岩を目標と致します。よろしくごお願い致します。

## 北関東地域（定数1人）

おぐろ きよし  
小黒 清 60歳

所属：（一社）栃木県診療放射線技師会

- 勤務先：獨協医科大学病院 放射線部
- 最終学歴：駒澤短期大学 放射線科，放送大学，大学評価・学位授与機構 保健衛生学士取得
- 所信・抱負：このたび，北関東地域の各県会長から推薦を頂き，浅学非才の身を顧みず，北関東地域理事に立候補することに致しました。

栃木県診療放射線技師会長として2年半，安全で安心な放射線技術の提供と質の高い医療技術の提供に向けて，フレッシュャーズセミナーや基礎技術講習の開催，業務拡大に伴う統一講習会開催など，日本診療放射線技師会と一体となって取り組んでまいりました。

私は，会員に分かりやすい技師会を目指しております。地域理事の大きな役目は，日本診療放射線技師会と地域診療放射線技師会がうまく連携しスムーズに事業展開ができるように，情報の共有を図り展開する事業の意義をしっかりと伝え，理解していただくことが大切だと思っております。また地域理事として日本診療放射線技師会と北関東各県技師会との協調を図り，より良い技師会活動を展開できるように微力ながら鋭意努力致します。

会員の皆さまのご要望に応えられる活動を展開できるよう協力したいと考えておりますので，どうぞよろしくごお願い申し上げます。

## 南関東地域（定数1人）

しのはら けんいち  
**篠原 健一** 58歳

所属：（公社）東京都診療放射線技師会

■勤務先：社会医療法人河北医療財団 河北総合病院

■最終学歴：放送大学

■本会役員歴：理事（2期：現職）

■所信・抱負：平成30年度・31年度南関東地域理事に3期目として立候補致します。

1期目から2期目の間に、診療放射線技師の業務範囲拡大や柔道整復師法一部改正案問題ということがありました。何よりも、患者さんの安心で安全なチーム医療推進のために職能団体・公益社団法人としての使命を果たさなければならぬと思っております。

診療放射線技師に求められる、そして目指さなければならない姿として、検像や読影の補助、いわゆる一次読影の定義や質の担保、さらなる業務範囲の拡大や疑義照会などの導入も視野に入れなければなりません。

現在の高度な医療現場や他職種連携のチーム医療を実践し、診療放射線技師を有効に活用するための抜本的な法改正と、診療放射線技師教育を四年制大学以上とするなど、資質・能力の向上に必要な教育内容充実のための指定規則の見直しも必要です。

未来の診療放射線技師のあるべき姿のために、今できることをしておかなければなりません。どうぞよろしくお願い致します。

## 中日本地域（定数1人）

やまもと ひでお  
**山本 英雄** 59歳

所属：（公社）静岡県放射線技師会

■勤務先：社会福祉法人聖隷福祉事業団 袋井市立聖隷袋井市民病院

■最終学歴：城西放射線技術専門学校

■本会役員歴：理事（1期：現職）

■所信・抱負：このたび、地域理事に立候補致しました静岡県放射線技師会の山本英雄です。

今回、2期目の立候補となります。1期目は右も左も分からず先輩理事の指示に従っての対応となり、中日本地域の皆さまの要望に満足に答えることができませんでした。2年間の経験で、会の流れがおおよそ理解することができました。その中で、地方と中央の温度差も感じましたので、今回は職能団体としての活動が会員に分かりやすく多くのメリットが与えられるよう、日放技と中日本地域の懸け橋として、北陸三県・東海四県の絆がより一層深まるよう、地域理事としての役割を担っていきたいと考えております。

## 近畿地域（定数1人）

たかしま としみつ

高嶋 敏光 59歳

所属：（公社）奈良県放射線技師会

■勤務先：宇陀市立病院

■最終学歴：大阪物療専門学校

■所信・抱負： このたび、近畿6府県の診療放射線技師会の会長のご推挙を賜り、浅学非才を顧みず日本診療放射線技師会（以下、日放技）近畿地域理事に立候補するに至りました。

私は6年間、奈良県放射線技師会長として近畿各府県とも一致協力しながら、診療放射線技師の職業の発展と職業倫理の高揚に向けて取り組んでまいりました。その中で、唯一の職能団体である技師会組織の重要性を強く感じてまいりました。

今、チーム医療が推進される中、私たち診療放射線技師も画像診断における読影の補助や技師法改正による業務範囲の拡大がなされています。一方で、他職種法律案の国会提出や新しい国家資格に向けた活動など、私たちの職業の将来を揺るがしかねない事態も発生しています。従って職能団体である日放技の施策は重要であり、技師会の存在が私たちの職業を守る砦<sup>とりで</sup>であると考えます。各府県技師会と情報を共有し合い、会員皆さまの貴重なご意見を日放技に届ける橋渡し役を担わせていただきたく存じます。

## 中四国地域（定数1人）

しげき たいし

茂木 大志 52歳

所属：（公社）愛媛県診療放射線技師会

■勤務先：医療法人千寿会 道後温泉病院

■最終学歴：法政大学文学部日本文学科 千葉大学医学部附属診療放射線技師学校

■所信・抱負： このたび、中四国地域理事に立候補致しました茂木です。未来と将来のある若い世代を対象とした事業を、少しでも展開していければと思っています。

今後、社会的に認められた診療放射線技師を目指す若者を増やしていくことが、職能団体にとって大切なことの一つであるということを胸に頑張っていく所存です。

またいろいろな人との新しい出会いを楽しみにしています。

## 九州地域（定数1人）

えとう よしひろ

江藤 芳浩 50歳

所属：（公社）大分県放射線技師会

■勤務先：医療法人慈恵会 西田病院

■最終学歴：熊本大学医療技術短期大学部 放射線技術学科

■本会役員歴：理事（1期：現職）

■所信・抱負： 平成28年度に日本診療放射線技師会（JART）理事に就任し2年目を終え

ます。関係各位のお力添えを頂きながら、地域理事としての会務をはじめ、さまざまな会務に携わってまいりました。

JARTは診療放射線技師の将来を見据えてさまざまな活動を展開しています。克服しなくてはならない多くの課題がある中、診療放射線技師法改正は大きな一歩でした。その基本となるチーム医療は素晴らしい概念ですが、診療放射線技師の既存の専門性だけでは他職種の躍進の影に埋もれ、さらなる業務拡大は望めないと思っています。現状に甘んじず、診療放射線技師の多様性を発揮し、国民の健康と公衆衛生の向上に寄与する活動の裾野を広げることが必要だと考えております。

九州地域理事としてJARTと九州各県放射線技師会との連携のため尽力するとともに、JART事業の発展と診療放射線技師の将来のため、微力ながら会務にまい進する所存です。どうぞよろしくお願い致します。

### 会員外理事候補者（定数3人）

（受理順）

1 <sup>すずき</sup>鈴木 <sup>ぎこう</sup>毅厚 44歳

現住所：東京都

- 勤務先：学校法人帝京平成大学
- 最終学歴：帝京平成大学大学院 健康情報科学研究科健康情報科学専攻 博士後期課程修了 帝京平成大学 博士（健康情報科学）授与（帝大院課博第六号）
- 本会役員歴：理事（1期：現職）
- 所信・抱負： 病院前救急医療では、救急救命士が行う救急救命処置はメディカルコントロールにより医学的な質を保障する取り組みが行われています。

病院前救急医療におけるメディカルコントロールとは、地域全体を一つの医療機関と見なして、その中で行われる傷病者への処置、搬送や救急医療体制について医学的な質を保障しています。

その推進において、日本医師会をはじめとする医療関連の職能団体や行政機関との協議や、他職種が緊密に連携してそれぞれの専門領域の垣根を越えた傷病者ケアを行う「チーム医療の推進」が必要不可欠です。

今般、会員外理事として推薦立候補するに当たり、他職種である救急救命士の視点で社会全体を俯瞰した上で、国民に信頼される診療放射線技師として何が必要かを見極め、それを成すためには何が必要かを考え、公益性の追求を念頭に置いた公益社団法人日本診療放射線技師会の運営に努めていく所存です。

とよだ      ながやす  
2 豊田 長康 67歳

現住所：三重県

- 勤務先：学校法人鈴鹿医療科学大学
- 最終学歴：大阪大学医学部，医学博士（三重大学）乙第227号
- 本会役員歴：理事（2期：現職）
- 所信・抱負：小職が平成25年から学長を務めさせていただいております鈴鹿医療科学大学は，日本診療放射線技師会の協力の下に，診療放射線技師をはじめとする医療専門職のレベルの向上を通して，人類の医療・福祉に貢献するという崇高な理念の下に平成3年に創立された大学と理解しております。この間，小職は日本診療放射線技師会の会員外理事を務めさせていただいておりますが，東京浜松町にある貴技師会の部屋をお借りして，当大学が診療放射線技師を対象とした大学院を開講していることなど，貴技師会との協力関係の下に人材育成をさせていただいており，大変感謝しております。今後も，特に人材育成の観点から，貴技師会の発展のために微力ながら尽力をさせていただく所存ですので，どうぞよろしくお願い致します。

にしがい      けいこ  
3 西貝 圭子 65歳

現住所：東京都

- 最終学歴：国際短期大学英文科
- 本会役員歴：理事（5期：現職）
- 所信・抱負：私は乳がん体験者として，乳がんを罹患した方へのピアサポート活動と乳がん検診率を上げる（特に子育て世代に向けた）啓発活動を行ってきました。ライフワークとして取り組む乳がん手術後の患者さんを訪問する「病院訪問ボランティア」は，聖路加国際病院から始め現在のがん研有明病院まで活動歴は24年になります。また在住する練馬区と協働で始めたPTAや子育てサークルなどへの「乳がん出張講座」や花屋さんとコラボして検診を呼び掛ける「母の日キャンペーン」は5年目となり，練馬区の乳がん検診率は5%UPしました。こういった経験を生かし外部理事として私ができることは①検診を共にすすめること②体験そして患者さんから伺ったご意見をお伝えし，患者さんとの接遇などに役立てていただくこと③一般の方たちに診療放射線技師というお仕事をよりご理解いただけるようにすること——と考え，微力ではありますが力を尽くしたいと思います。

## 全国理事候補者（定員11～14人）

(受理順)

1 <sup>ひろき</sup> **廣木** <sup>あきのり</sup> **昭則** 60歳 所属：（一社）佐賀県放射線技師会

- 勤 務 先：佐賀大学医学部附属病院 放射線部
- 最 終 学 歴：熊本大学医学部附属診療放射線技師学校，学士（保健衛生学）（独立行政法人大学評価・学位授与機構）
- 本会役員歴：理事（1期）
- 所信・抱負：平成30年度・31年度の全国理事に立候補しました廣木昭則です。よろしくをお願いします。公益社団法人日本診療放射線技師会の定款および規定などに則して会の運営，会員のために全国理事として活動したく，今回立候補しました。

最近の医療分野は状況変化が早く，時代に即した変化が求められています。日本診療放射線技師会の活動を基点に，会員の皆さまおよび日本国民の医療に貢献できればと思います。どうぞよろしくごお願い申し上げます。

2 <sup>くましろ</sup> **熊代** <sup>まさゆき</sup> **正行** 62歳 所属：（公社）岡山県診療放射線技師会

- 勤 務 先：公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院医療技術部門 放射線技術部
- 最 終 学 歴：大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 博士後期課程単位取得退学，岡山大学大学院 保健学研究科 放射線技術科学分野 博士課程修了
- 本会役員歴：理事（4期：現職），副会長（1期：現職）
- 所信・抱負：日本診療放射線技師会は，検査関連行為，診療の補助行為の拡大，読影の補助の推進，専門・認定資格制度の推進や診療放射線技師法の改訂など，さまざまな事業展開を行っています。また将来の診療放射線技師のあるべき姿として，指定規則の大幅な改正を目指しています。これらの事業をさらに発展させていくことが，執行部の責務として求められています。現在，これらの事業が少しずつ成果を上げています。会員の皆さまにもその必要性を十分ご理解いただき，ご協力をお願い致します。私は，これまで副会長として，会務の運営に際しては，公正で誠実な活動を常に念頭に置き活動してきました。国民から安全で安心な医療が求められている昨今，われわれはその期待に応えるためにも，診療放射線技師の発展と資質向上に向けて努力を重ねていかなければなりません。これらを実践するために全国理事に立候補致します。どうかご支援を賜りたいと存じます。

にしかわ のりこ  
**3 西川 祝子** 30歳 所属：(一社) 千葉県診療放射線技師会

■勤務先：国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院

■最終学歴：国際医療福祉大学 保健医療学部放射線・情報科学科

■所信・抱負： 診療放射線技師法の一部改正は、われわれの業務範囲が拡大したことでチーム医療の推進が図られるとともに、業務効率の向上や患者需要への対応など、臨床現場はもとより、国民医療に多大な恩恵をもたらしています。今後は、これを起点とした医療の在り方の責任を果たすべく、ますます診療放射線技師の研鑽けんさんが必要不可欠であり、公益社団法人日本診療放射線技師会が現場に即した技能の必要性を的確に捉え、安心・安全かつ円滑な業務が遂行できるような会務が重要と思っています。

現在、推進している統一講習会については、診療放射線技師のより良い環境と体制を整備し、社会におけるわれわれの職域保守ならびに地位向上に貢献しています。私は、このような取り組みに感銘を受け、その一員として活動したいと考え立候補を致しました。微力ながら未来の診療放射線技師を真剣に考え、技能とサービスの質向上にまい進する所存でございます。会員皆さまのご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

よし い あきら  
**4 吉井 章** 46歳 所属：(公社) 埼玉県診療放射線技師会

■勤務先：医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院

■最終学歴：城西放射線技術専門学校

■所信・抱負： 平成28年度から日本診療放射線技師会の学術委員として、新生涯教育システムの運用を目的としたクリニカルリーダー・マネジメントリーダーの作成に携わらせていただきました。

教育システムの構築は、診療放射線技師としての高度な専門的知識を養い、そして今後の目まぐるしい医療情勢に対応できるリーダーの育成に必要な、マネジメントスキルを養う仕組みとして重要であります。

日本診療放射線技師会の活動は、診療放射線技師の資質向上や職種としての地位向上を目指した取り組みとともに、次世代を担う診療放射線技師の育成に積極的に取り組む必要があると考えます。

これからの日本診療放射線技師会の取り組みや活動・発展に、微力ではありますがお役に立てるよう努めてまいります所存です。よろしくお願い致します。

5 <sup>こだま</sup> 児玉 <sup>なおき</sup> 直樹 42歳 所属：(一社) 新潟県診療放射線技師会

- 勤 務 先：新潟医療福祉大学
- 最 終 学 歴：長岡技術科学大学大学院 工学研究科 情報・制御工学専攻修了，博士(工学)
- 本会役員歴：理事（6期：現職）
- 所信・抱負： 私，児玉直樹は平成18年度から，日本診療放射線技師会の理事として主に学術教育と国際を担当してきました。平成30年度・31年度の2年間で，私は次の4点について主に活動していきたいと考えています。(1) クリニカルリーダーとマネジメントリーダーを活用した新しい生涯教育システムへの移行とスムーズな運用 (2) 見学型臨床実習から参加型臨床実習への移行を可能にし，未来ある診療放射線技師を育成するための診療放射線技師学校養成所指定規則の見直し (3) 診療放射線技師の業務内容の見直しと，それに伴う新たな講習会やセミナーの開催 (4) 世界放射線技師会加盟国との国際交流と発展途上国への教育支援——です。これら活動に関する情報は会員向けに積極的に公開し，会誌やホームページを通じて伝達していきたいと考えております。今後も精いっぱい活動していきたいと考えておりますので，よろしく願い致します。

6 <sup>なかざわ</sup> 中澤 <sup>やすお</sup> 靖夫 66歳 所属：(公社) 東京都診療放射線技師会

- 勤 務 先：公益社団法人日本診療放射線技師会
- 最 終 学 歴：放送大学 教養学部，昭和大学（医学博士取得）
- 本会役員歴：理事（3期），会長（4期：現職）
- 所信・抱負： 日本診療放射線技師会は現在11の政策を掲げて，厚生労働省および立法府に働き掛けています。それは 1) 診療放射線技師法の抜本的改正 2) がん対策推進基本計画に基づく診療放射線技師育成の充実および環境整備 3) チーム医療を推進するための診療放射線技師の活用 4) 医療安全のための適切な業務管理体制の構築 5) 国家試験委員の構成について 6) 養成教育の四年制大学化への移行および卒後臨床研修の制度化 7) 緊急被ばくならびに医療被ばくに対応するため専門官の配置 8) 放射線の教育・普及啓発活動に対する診療放射線技師の活用 9) 医学物理士の在り方 10) ワーク・ライフ・バランス 11) 柔道整復師法の一部を改正する法律案に対する反対運動——です。  
上記政策を実現するために，47都道府県（診療）放射線技師会との連携強化を図り，精力的に活動する所存です。ご理解とご支援をよろしく願い致します。

7 <sup>とみた ひろのぶ</sup> 富田 博信 47歳 所属：(公社) 埼玉県診療放射線技師会

- 勤務先：恩賜財団 埼玉県済生会川口総合病院
  - 最終学歴：国際医療福祉大学大学院修士課程修了
  - 本会役員歴：常務理事（1期），理事（3期：現職）
  - 所信・抱負： 数年来，会誌コンテンツの見直しや誌上講座・対談企画・特集など，幅広く企画してまいりました。昨年度よりカラーページを多く採用し，好評を頂いております。本年度より「読影の補助に取り組む施設の紹介」や「病院紹介」なども企画し，内外で活躍する診療放射線技師をテーマに紹介してまいります。今後，誌上講座などの学術コンテンツにも一層力を入れ，会員の皆さまが，毎月楽しみにしていただけるような会誌作成を心掛けたいと思います。
- ネットワークナウにおいては，昨年より電子配信を実施し，印刷製本コストの削減に大きく寄与してまいりました。また電子化に伴いカラー化を実現し，会誌とWeb連携を進め，さらなる情報連携を進めてまいりたいと思います。
- またわれわれの関係する専門・認定機構との連携を密に取り，本会の大きな課題である技師法改正も含め，診療放射線技師のさらなる社会的地位向上を目指してまいりたいと思います。

8 <sup>さ の みきお</sup> 佐野 幹夫 64歳 所属：(公社) 愛知県診療放射線技師会

- 勤務先：医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 放射線技術科
  - 最終学歴：東海医療技術専門学校（旧神取学園医療技術専門学校）
  - 本会役員歴：理事（2期），副会長（2期：現職）
  - 所信・抱負： これまで愛知県診療放射線技師会長（3期7年間），中日本地域理事（3期6年間）を務めるとともに，中澤体制の下で副会長（2期4年間）の職務に携わってまいりました。
- そして過去の経験を生かし，JART副会長としての役割を微力ながら精いっぱい任を全うしてきたと自負しております。しかしながら，職能団体としての活動にはまだまだ多くの課題が山積しております。
- その一つに技師法の改正があります。現在，会員皆さまのご協力とご理解により一部改正が実現され，統一講習会が全国各地で展開されております。しかし現状は，技師法制定から長い年月がたつにもかかわらず，いまだ抜本的改正には至っておりません。
- また医療系職能団体の使命は，継続的な生涯教育の構築が求められています。それは安全かつ良質な医療を国民に提供する役割を担っており，現在，本会が取り組んでいる生涯教育システムは個々の会員の到達目標が把握でき，習熟度レベルが可視化できるシステムの構築を目指しています。
- さらに魅力ある職業へ，会員の皆さまと共に次世代へ継承していくことが職能団体としての責務であると考えています。
- 今回，全国理事候補として立候補致しました。今後も会員の皆さまと共に本会の発展，そして技師の資格を守るために私に役割を与えてください。

9 <sup>まつだ</sup> <sup>しげお</sup> 松田 恵雄 53歳 所属：(公社) 埼玉県診療放射線技師会

- 勤務先：埼玉医科大学国際医療センター
- 最終学歴：学位授与機構により「保健衛生士」取得
- 本会役員歴：理事（1期：現職）
- 所信・抱負： これまで2年間、日本診療放射線技師会の全国理事として務めさせていただきました。この間、広報担当理事として、Webサイトの閲覧性改善やメールマガジンによる情報発信の開始など、自己の専門分野を生かしつつ、微力ではありますが、会の運営に資してきたつもりです。  
今回、日本診療放射線技師会のさらなる成長や、より一層の会員サービス向上に向け、まだまだ自分にできる仕事が存在すると考え、再度全国理事に立候補させていただきました。  
特に、大学病院に勤務している臨床現場の診療放射線技師という立場から、多くの会員の声を代表しつつ、診療放射線技師という職種の社会的認識向上や、高度専門技術者としての職域確立に向けた活動を進めていきたいと考えております。またこれまで通り、日本診療放射線技師会からの情報発信力強化や、発信情報自体の価値向上などに向けた事業の推進に努力してまいります。  
何とぞ、よろしくお願い申し上げます。

10 <sup>なかむら</sup> <sup>まさる</sup> 中村 勝 56歳 所属：(公社) 愛知県診療放射線技師会

- 勤務先：愛知医科大学病院
- 最終学歴：放送大学、独立行政法人大学評価・学位授与機構（学士 保健衛生）
- 本会役員歴：理事（2期：現職）
- 所信・抱負： 平成26年から2期、全国理事を務めさせていただきました。主に学術・教育を担当し、各セミナーなどの開催や各種認定制度などの生涯教育の運用、業務拡大に伴う統一講習会の実施、日本診療放射線技師学術大会の開催、診療放射線技師養成所カリキュラム等の検討など、数々の事業に取り組んでまいりました。また新しい生涯教育システムの構築にも取り組んでいます。現在の生涯教育システムに積極的に取り組んでいる会員が、決して不利益にならないシステムとし、多くの診療放射線技師に利用してもらえる、そして社会からも認められるシステムにしなければならないと考えています。  
日本診療放射線技師会は診療放射線技師の職能団体です。診療放射線技師のために、会員のために、将来を見据えて後れを取ることなく、積極的に事業に取り組んでいかなければなりません。  
ご支援、ご協力をお願い致します。

11 <sup>えだ</sup> <sup>てつお</sup> 江田 哲男 53歳 所属：(公社) 東京都診療放射線技師会

- 勤 務 先：東京都済生会中央病院
- 最 終 学 歴：鈴鹿医療科学大学大学院 医療科学研究科 修士
- 本会役員歴：理事（2期：現職）

■ 所信・抱負： 私は、本会理事として平成26年度から平成29年度までの2期に及び、総務理事として担当させていただきました。

この4年間、JART活動の中で事業を推進するに当たり、さまざまな経験をさせていただきました。中でも、関係省庁や関連団体との交渉などやわれわれの国家資格の向上や試験問題の作成関係などに、本会が大きく寄与していることが理解できました。また学術大会や委員会活動を通じて全国の診療放射線技師の先生方と交流が持てたことは、私にとってとても良い経験になっています。私はこの4年間で経験したことを生かし、全国の会員へ診療放射線技師資格の向上と国民へ質の高い医療サービスの提供を目指して活動を行っていく所存であります。

まだ経験も浅く未熟者ではございますが、皆さまのご支援とご協力をよろしく願います。

12 <sup>おだ</sup> <sup>まさのり</sup> 小田 正記 57歳 所属：(公社) 東京都診療放射線技師会

- 勤 務 先：学校法人創価大学 理工学部
- 最 終 学 歴：東京電子専門学校、放送大学大学院 修士課程修了（学術）
- 本会役員歴：常務理事（2期）、理事（4期：現職）

■ 所信・抱負： 業務執行理事として、財務を担当させていただいております。本会の多岐にわたる公益目的事業や活動、職能団体としての事業戦略を資金面からサポートする役割を担っています。

これまでに、財務・会計取り扱いに関する規程の整理・見直し・ルール化、会費納入や入退会を含めた会員情報システムの充実・改修、また各事業の執行に関わる予算管理・資金運用などの財務管理を遂行してまいりました。

今後は、全国の技師会と協力して新会員の確保・入会促進を図るとともに、高齢会員の年会費減額、新生涯教育システム構築に向けた予算運営、新事務所移転のための財務戦略の構築、事務所機能の効率化のための改革など、さらなる事業・組織の充実を図ってまいります。

「財務戦略なくして経営戦略なし」といわれます。職能団体として、また公益法人として、本会の山積するさまざまな問題を一つ一つ解きほぐし解決すべく、果敢に取り組んでまいります。

13 <sup>ふじい</sup> 藤井 <sup>まさよ</sup> 雅代 55歳 所属：(公社) 東京都診療放射線技師会

- 勤 務 先：日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院
- 最 終 学 歴：駒澤大学専攻科 放射線技術科学専攻 (学位授与機構 保健衛生学士)
- 本会役員歴：理事 (1期：現職)
- 所信・抱負：平成28年より診療報酬政策立案委員会で、皆さまからのアンケート調査に基づいた診療報酬改定に関する要望書の作成・提出に従事しました。

医療安全のための管理体制の構築から始まり、算定要件中に診療放射線技師の表記の明確化などを要望しています。そして医療技術の診療報酬上の評価については、大きく「診断の要素」「撮影技術の要素」「医療機器の要素」の3つから鑑みて、診療報酬の中で適正に評価していただくことが考えの基本です。

言い換えれば、診療報酬の中にどれだけ診療放射線技師の存在をアピールし、われわれの業務内容や技術に対する対価を認めていただくかということです。アンケート調査から見えてくる実態を踏まえ、これからどうアプローチしていけば良いか、皆さまにフィードバックしていきたいと考えております。

浅学非才、まだまだ経験不足な私ではありますが、皆さまのお役に立てるよう頑張っております。よろしくお願い申し上げます。

14 <sup>よしかわ</sup> 吉川 <sup>のりこ</sup> 典子 46歳 所属：(公社) 岐阜県診療放射線技師会

- 勤 務 先：一般社団法人ぎふ総合健診センター
- 最 終 学 歴：岐阜医療技術短期大学 診療放射線技術学科
- 所信・抱負：このたび、平成30年度・31年度の全国理事に立候補致しました吉川典子と申します。現在は人材育成委員会女性活躍推進班において中日本地域の担当を務めさせていただいております。以前は岐阜県診療放射線技師会の理事を8年務めておりました。

平成27年8月『女性活躍推進法』が成立し、さまざまな分野において働く場で活躍したいという希望を持つ女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会となりました。私たち診療放射線技師も年々女性技師が増加し、女性管理職や各県の技師会で活躍する女性も増加してきました。これからは、技師会の中でも男女や年代を問わず同じ目標を持った診療放射線技師が活発に活動や情報交換を行い、その相乗効果によりさらなる化学反応が期待できる時代になると考えます。また国民は安全で安心な医療の提供を求めています。そのニーズを満たすためにも、私たちの技術や知識の継承は重要です。職能団体である技師会においては、人材育成のための教育システムや働く環境の整備は重要な課題であり、有効な情報を迅速に会員に提供することも重要だと思えます。

経験も浅く未熟ではありますが、会員の皆さまにとって働きやすい職場、人材育成、技術・知識の研鑽けんさんなど会員の皆さまのお役に立てる会の運営に向

けて努めてまいります。皆さまのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 監事候補者（定数3人）

### 会員監事候補者

（受理順）

1 お が わ と し ま さ  
**小川 利政** 68歳 所属：（公社）大阪府診療放射線技師会

- 最終学歴：放送大学大学院修士課程修了
- 本会役務歴：理事（2期），副会長（1期），監事（2期：現職）

2 しんかい えいしゅう  
**新開 英秀** 72歳 所属：（公社）福岡県診療放射線技師会

- 勤務先：公益財団法人福岡労働衛生研究所 労衛研健診センター
- 最終学歴：九州大学医学部附属診療エックス線技師学校専攻科
- 本会役務歴：理事（4期），監事（3期：現職）

### 会員外監事候補者

むろ の い ひろし  
**室野井 廣** 75歳 現住所：埼玉県

- 勤務先：室野井廣税理士事務所
- 最終学歴：富士短期大学（現富士大学）専攻科，日本税理士連合会 税理士登録 登録番号第34896号
- 本会役務歴：監事（3期：現職）